

所信表明

復興の総仕上げ

01 災害に強い町 安全・安心なまちづくり

熊本地震から10年を迎え、あの時の記憶と教訓は、本町の防災・減災対策の基礎であり、未来への大切な財産です。この経験を忘れることなく、次の世代へと確実に伝えていかなければなりません。

災害時には、町民一人一人の「自助」、地域みんなで助け合う「互助」、そして行政の「公助」が一体となって機能する仕組みをさらに進めていきます。

- ・防災リーダー・防災士の育成
- ・「記憶の継承」事業
- ・日常も災害時にも機能する公園整備

02 子育て・教育環境の整備

子育て・教育においては、「益城町こども計画」に基づく各種施策を引き続き推進し、子育て世代が安心して子育てができる環境づくり、子どもたちが健やかに育つ教育環境を充実させていきます。

- ・小中学校の体育館の空調機設置
- ・こども図書館の整備
- ・小学校給食費無償化と中学校の半額補助
- ・学校給食食材の地産地消
- ・保育所などの待機児童ゼロの推進
- ・保護者の皆さまなどとの意見交換の場を設ける

03 健康づくりと 地域コミュニティの充実

町民一人一人が、生涯にわたって健康で生き生きと暮らせるよう、健康づくりの支援を強化します。

さらに、地域住民が交流し、支え合えるよう、地域コミュニティ活動のさらなる充実を図ります。

- ・「健康フェスタ」などの健康づくりイベントや、「ましき健康応援ポイント」などによる、健康づくり活動と運動習慣の定着を支援
- ・胃内視鏡検査の新たな補助
- ・多世代が交流できる空間「ましき子育ておしゃべりカフェ」開設
- ・プラチナ世代の交流の場「サードプレイス(第三の居場所)」の創出

04 にぎわいのある 活気あふれるまちづくり

「わくわくするような益城町」を実現するため、企業や商業施設の誘致に努め、地域を支える皆さまと連携し、魅力あふれるまちづくりをさらに進めていきます。

- ・区画整理事業地内への商業施設の誘致
- ・県道熊本高森線、国道443号線沿いへの商業施設の誘致を進め、にぎわいあふれる歩きたくなるまちづくり(ウォーカブル都市構想)を進展
- ・木山仮設団地跡地一帯を活用した、住宅・商業施設・公園機能が一体となったエリアの整備

05 将来を見据えた行財政運営

熊本地震からの復旧・復興事業や少子高齢化などの影響により、今後、町の財政状況は厳しさを増していくという認識に立ちつつも、持続可能な町政運営のため、長期的な視点に基づき、企業誘致や定住促進に積極的に取り組み、財源確保に努めます。

- ・行政改革大綱を改定し、事業の合理化や見直しを図る
- ・公共施設へのネーミングライツの導入
- ・ふるさと納税の拡大
- ・施設の長寿命化計画の推進

役場の組織が変わりました

7月に、役場の組織の改編を行いました。

企画財政課と復興整備課を廃止し、新たに総合政策課と財政課を設置しました。また、一部の係においては業務移管や名称変更を行っています。

下記のとおり、組織改編の詳細をお知らせします。

変更があった課のみ記載しています。

変更後の課・係の電話番号については、本紙2ページに記載しています。

変更前		変更後		
課	係	課	係	変更元(内容)
総務課	行政係	総務課	行政係	
	人事係		人事係	
	管財係		町長公室	
	町長公室		男女共同参画係	
	男女共同参画係		広報係	企画財政課 広報係
企画財政課 廃止	木山エリアデザイン推進室	総合政策課 新設	企画政策係	// 復興企画係
	復興企画係		情報政策係	// 情報政策係
	情報政策係		行政改革係	// 行政改革係
	行政改革係		木山エリアデザイン推進室	総務課 木山エリアデザイン推進室
	財政係		財政係	企画財政課 財政係
復興整備課 廃止	広報係	財政課 新設	管財係	総務課 管財係 公営住宅業務を都市計画課から移管
	まちづくり推進室		都市計画係	
	用地対策係		建築係	
	都市計画係		復興区画整理係	復興整備課 まちづくり推進室
	建築係		管理係	
都市計画課	管理係	建設課	道路整備係	
	道路整備係		用地対策係	復興整備課 用地対策係
	復興工務係		街路工務係	建設課 復興工務係
	管理係		管理係	
	工務係		工務係	工務係と内水対策係を統合
建設課	内水対策係	下水道課	人権推進係	福祉課 人権対策係
	人権対策係			
	※変更係のみ記載			
福祉課		福祉課		